PRAGMA

INNOVATIONS

ARVIGOmoto3

ARVIGOmoto3 R8

はじめに

このたびは PRAGMA 社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

お読みになった後はいつでも見られるところに保管しておいてください。

ご不明な点は最終ページ記載の連絡先にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

安全上の注意

・このガイドを最後までお読みください。
・当機器を水のかかる環境に設置しないようにしてください。
・掃除する場合は乾燥した布でのみ行ってください。
・火気に近づけないようにしてください。
・異常（音、煙、臭いや発熱など）に気付いたら使用しないでください。
・換気の良い場所に設置するようにしてください。
・分解や改造は行わないようにしてください。
・ユーザー様にて修理できる商品はありません。万が一の不具合の際は株式会社オーディオブレインズまでご連絡ください。

製品保証

PRAGMA 製品の保証はご購入後 1 年間となっております。通常運用で不具合が生じた場合は 1 年間無償で修理を行います。ただし輸送中、移動中の製品落下、不適切な使用での故障、製品の改造を行った場合、また国外で使用し故障した場合などは当保証対象外になります。

内容物

・ARVIGOmoto3 本体
・製品保証書
・設定資料

設定ソフト

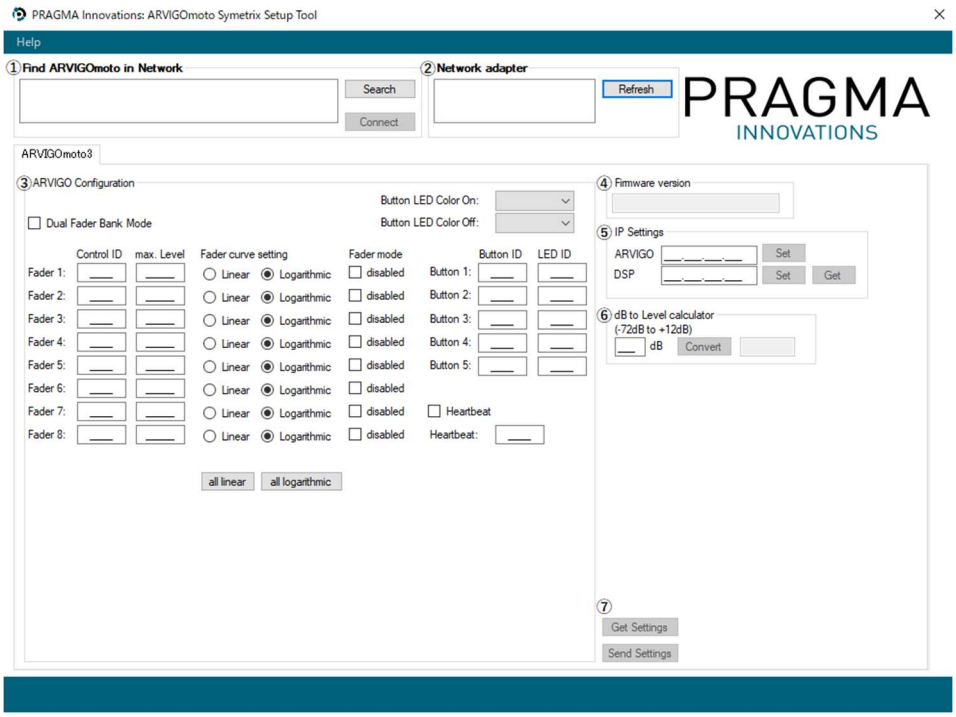
ARVIGOmoto3 設定ソフトウェアは Windows ベースのソフトウェアになります。

下記の WEB サイトから **PRAGMA Innovations Symetrix Tool for ARVIGOmoto3** ソフトウェアをインストールしてください。

https://audiobrains.com/download/symetrix/

設定ソフトウェア

ARVIGO moto3 は今までの ARVIGOmoto2 などのソフトウェアとは互換性がありません。
必ず **Symetrix Tool for ARVIGOmoto3** を使用し、設定を行ってください。



① Find ARVIGOmoto in network

Search ボタンをクリックすると接続されている ARVIGOmoto3 を探し、見つかった ARVIGOmoto3 の IP アドレスと MAC アドレスを表示します。
Connect ボタンをクリックすると選択した ARVIGOmoto3 が接続され、設定情報の表示、変更を行うことができます。
接続中、Connect ボタンは Disconnect ボタンに切り替わります。
Disconnect をクリックすると接続された ARVIGOmoto3 との通信を終了します。
設定終了後必ず Disconnect をクリックしてください。

② Network adapter

この項目では、ARVIGOmoto3 を接続しているネットワークアダプターを選択します。
機器が見つからない、もしくは異なる IP アドレスが表示されている際は Refresh ボタンを押して更新をしてください。
機器が見つからない場合は PC のネットワーク設定をご確認ください。

③ ARVIGO Configuration

この項目では、ARVIGOmoto3 の各設定を行うことができます。

- Dual Fader Bank Mode

  この項目にチェックを入れると Dual Fader Bank Mode に切り替わります。

  ☐ Single Fader Bank Mode（チェック無し）

  5 個の独立したボタン、LED と 8Fader として使用できます。

  ☑ Dual Fader Bank Mode（チェックあり）

  5 番目のボタン/LED を使用し、1-8Fader と 9-16Fader を切り替える事ができます。

- Control ID

  フェーダー毎の Remote Control Number を設定、表示します。

- max. Level

  各フェーダーの最大値を 00000 から 65535 の間で指定する事ができます。

- Fader curve setting

  各フェーダーのカーブを Linear(リニアテーパー) / Logarithmic(ログテーパー)から選択することができます。

  All linear / All logarithmic ボタンを押すとすべてのフェーダーを一括で変更することができます。

- Fader mode

  Disable にチェックを入れると、そのフェーダーを使用しない設定となります。

- Button LED Color On / Button LED Color Off

  ボタン On 時、Off 時の LED の色を選択することができます。

  各ボタン LED の色は個別には設定できず、すべて同じ色になります。

  選択できる色は以下の通りです。

  - Off（LED 無点灯）
  - Red
  - Yellow
  - Green
  - Blue
  - Turquoise
  - Violet
  - White
  - PRAGMA（旧 ARVIGOmoto2 で使用されていた LED 色）

・ Button ID、LED ID

各ボタン、LED 毎の Remote Control Number を設定、表示します。

・ Heartbeat

Heartbeat 機能の ON/OFF、Heartbeat を出力する Remote Control Number を設定、表示します。

Heartbeat は指定された Remote Control Number に定期的に信号を出力し、DSP ユニットと ARVIGOmoto3 が接続状況を確認する為に使用する機能です。

④ Firmware version

Connect している ARVIGOmoto3 のファームウェアバージョンを表示します。

⑤ IP Settings

この項目では、ARVIGOmoto3 の IP アドレス設定を行うことができます。

・ ARVIGO

ARVIGOmoto3 本体の IP アドレス設定を設定することができます。IP アドレスを入力し、Set ボタンを押してください。

変更後の IP アドレスは Find ARVIGOmoto in Network で確認することができます。

・ DSP

ARVIGOmoto3 を接続する Symetrix DSP の IP アドレスを設定する事ができます。IP アドレスを入力し、Set ボタンを押してください。

Get ボタンを押すと現在の設定を確認することができます。

⑥ dB to Level calculator

-72dB から+12db の間で任意の数字を入力し Convert ボタンを押すと、00000 から 65535 のコントロール値に変換し表示します。

この機能は max. Level を指定するときに役に立ちます。

⑦ Get Settings / Send Settings

・ Get Settings

ARVIGOmoto3 の設定を表示します。

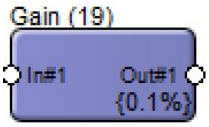
・ Send Settings

設定した情報を ARVIGOmoto3 に流し込みます。

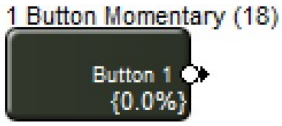
設定を流し込んだあとに必ず Get Settings を行い、設定が反映されているかご確認ください。

Symetrix DSP 側の設定

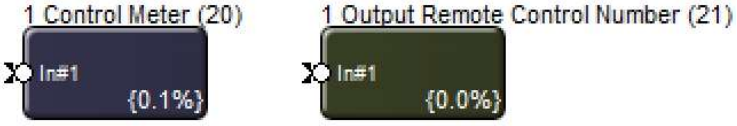
① Gain モジュールを配置し、Symetrix Tool for ARVIGOmoto3 ソフトウェア上で設定した任意のフェーダーの Control ID を制御対象のフェーダーに割り振ってください。



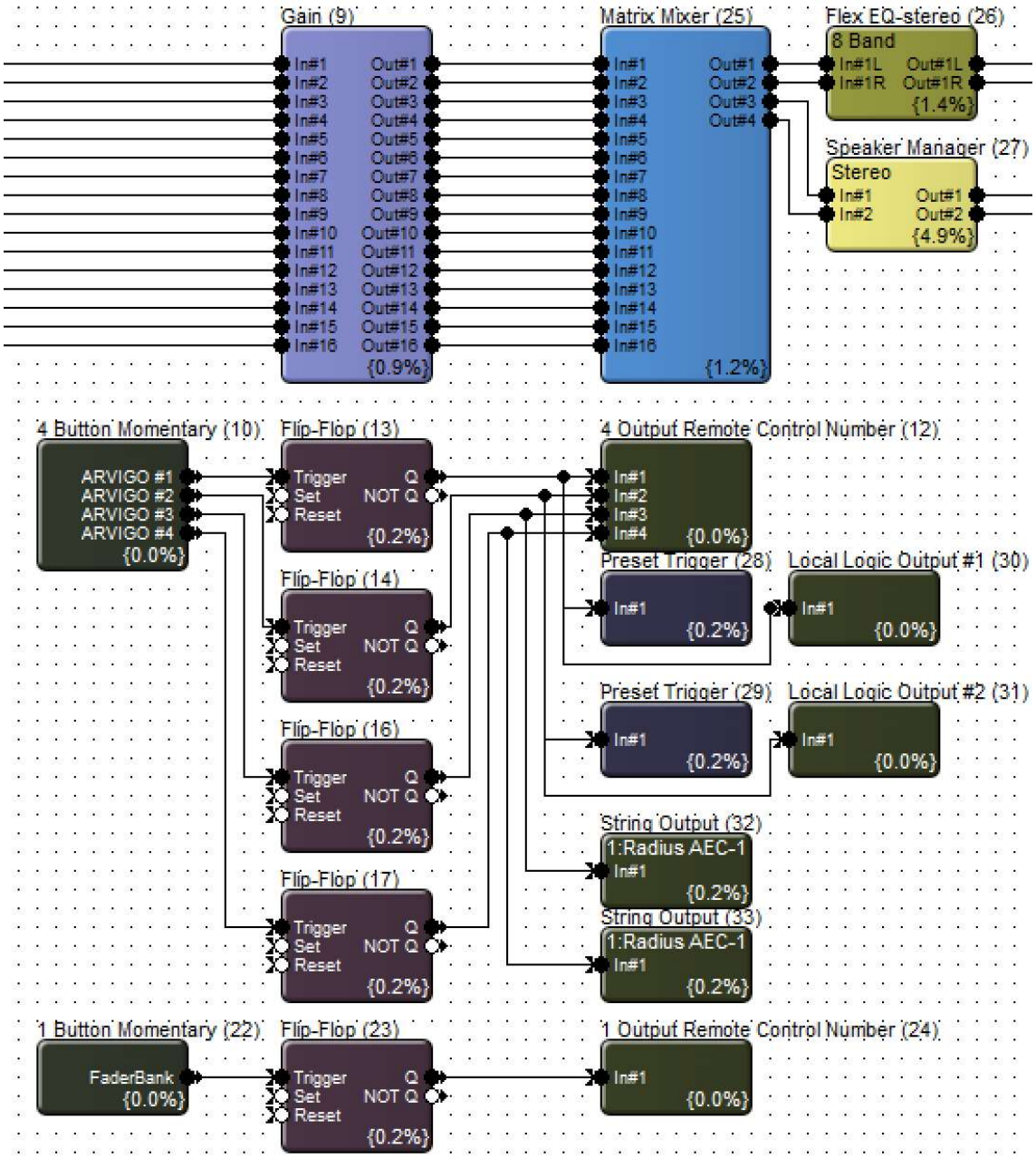
② Control Module 内の x Button Momentary を配置し、Symetrix Tool for ARVIGOmoto3 ソフトウェア上で設定した任意の Button ID を Momentary Button の ON 部分に割り振ってください。
また Heartbeat 機能を使用する場合も同様の方法で設定してください。



③ スイッチの LED を点灯させるには、LED ID を割り振ります。
または x Output Remote Control Number モジュールなどに LED ID を割り振ります。



Symetrix DSP 側の設定例

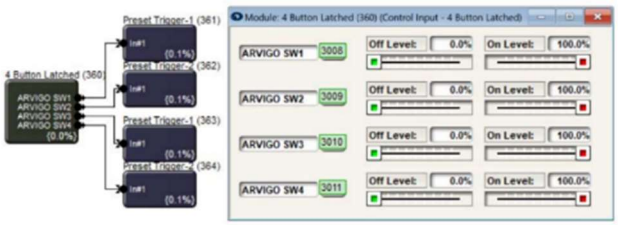


PRAGMA
INNOVATIONS

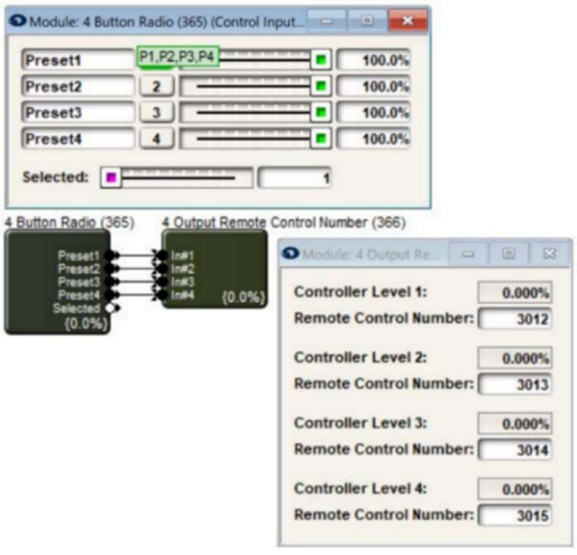
ARVIGOmoto3 のスイッチを使用し DSP のプリセットを変更する方法

この例では 4 つのプリセットを作成して、ARVIGOmoto3 の各スイッチで呼び出すロジックの作成方法を説明します。この時スイッチの LED は呼び出されているプリセット、つまり最後に押されたスイッチだけが点灯するようにします。

1. 任意のプリセットを作成します。この例ではプリセット 1 から 4 を使用します。



2. Toolkit の Control Modules > Control Inputs 内にある 4Button Latched を配置します。モジュールを開き ON の上で右クリックして Remote Control Number を割り当てます。Remote Control Number は Symetrix Tool for ARVIGOmoto3 ソフトウェアで設定した Button ID と同じ番号を指定します。
3. Control Modules > Control Accessories 内の Preset Trigger を配置して上図の様にワイヤーを繋ぎます。Preset Trigger モジュールを開き、呼び出すプリセットを一つずつ指定します。
4. これでボタンを押した時に任意のプリセットを呼び出すロジックが完成しました。次に、呼び出されたプリセットに応じてスイッチの LED を点灯させるロジックを作成します。
5. Control Modules > Control Inputs 内にある 4 Button Radio を配置します。モジュールを開きプリセットを割り当てます。この例ではプリセット 1 の時に 1 が選択され、プリセット 2 の時に 2、と作成しています。
6. Control Module > Control Outputs 内にある 4 Output Remote Control Number を配置して、Remote Control Number を設定します。Remote Control Number は Symetrix Tool for ARVIGOmoto3 ソフトウェアで設定した LED ID と同じ番号を指定します。



7. 作成したファイルを DSP にプッシュします。

※Symetrix DSP 側のプリセットや Remote Control Number の設定方法は別途 TechTip をご参照ください。

仕様

ARVIGO moto3

サイズ	225mm x 185mm x 60mm
重さ	1100g
電源	PoE Class 3 (～5W, peak 12W)
接続ケーブル	UTP ケーブル、100BaseT(CAT-5/6/7) RJ45
最大接続長	100m

ARVIGO moto3 R8

サイズ	483mm x 132mm (3U) 基板高 裏面より 40mm
重さ	1200g
電源	PoE Class 3 (～5W, peak 12W)
接続ケーブル	UTP ケーブル、100BaseT(CAT-5/6/7) RJ45
最大接続長	100m

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは株式会社オーディオブレインズまでご連絡ください。お問合せ受付時間は、土日祝日、弊社休業日を除く 10:00～18:00 です。

株式会社オーディオブレインズ

〒216-0034

神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 3-1

電話：044-888-6761

AUDIO BRAINS

20220615